

117期通信

北海道小樽潮陵高等学校 1 学年通信
令和2年 7 月 29 日 (水) 発行 第 10 号
潮陵 1 学年団

☆進路講演会

7/13(月)に進路講演会を実施し、講師であるベネッセの逢阪さんからは主に以下のような話がありました。

- ・大学入試の問題は、基礎問題 60%、応用問題 20%、難問 20%。この中で差がつくのは基礎問題。
- ・「大学入学共通テスト (旧センター試験)」の国数英の出題範囲は、高校 2 年生までの学習内容。
- ・受験勉強を始めた高校 3 年生の多くは、一生懸命 1・2 年生のときの復習をしている。
- ・難関大学に合格した者の多くは、1 年生の秋で学習習慣が確立されている。
- ・1 年 7 月模試で偏差値 50 だった生徒が、東北大に現役合格している。
- ・模試は復習が命。
- ・北大合格者と不合格者の大きな違いは授業中の取り組み方 (板書以外のこともノートにとっている)。
- ・勉強を始めてほしい 5 ヶ月経った頃に、自分自身の成績の伸びを感じる。

今回の講演会は、学習に関わる具体的な話が多く、非常にわかりやすい内容だったと思います。1 年生の君たちにとって有益な話ばかりだったのではないのでしょうか。しかし、どんな素晴らしい話を聞いても、「主体性と実行力」が伴わなければ何の意味もありません。来週から夏季休業に入ります。家庭学習や夏期講習、部活動等を通じて、主体性と実行力を培ってください。

以下に生徒 2 名の感想を紹介します。

D 組 K 君

大学受験は、出題も全て教科書から出ているということを知り驚きました。余計な問題集などを買わず、教科書の内容を完璧に理解し、模試やテストに臨もうと思いました。北大の合格者は、分かるまでテストの復習をしていることや、大学に受かるかどうかは高校 2 年生までで決まるという言葉がとても心に残りました。この講演会を聞き、これからは自分に合った勉強方法を確立して頑張ろうと思いました。

F 組 K さん

この講演会を通して、高校の 3 年間は大学入試にとって、とても大事な期間だと知りました。今はまだ 2 年以上も入試まで時間があるけれど、その時間はあっという間に過ぎてしまうので、今のうちに授業の内容を理解して教科書をしっかり読もうと思いました。実行力があれば、高 3 になる頃にはだいたいのことが理解できるようになれると言っていたので、私も今日からコツコツと毎日勉強を続けることを大切にしていきたいと思います。

<文理選択>

7/22(水) 7 校時に、道見先生 (C 組担任) より文理選択に関わる説明がありました。文系か理系かを選択するにあたり、“将来のビジョンを持つことや自分の興味関心を広げることが大切” という話がありました。

これから必要になるのは「自己理解」と「世の中を知ること」です。例年だと、高 1 の夏に各大学のオープンキャンパスに参加する人がたくさんいます (今年の参加は難しいかもしれませんが)。この夏に、自分の性格や適性について考えたり、読書等を通じて知らない世界を覗いたり、大学や学部学科の調査をしたりするなど、積極的に行動してみてもいいのではないでしょうか。

<夏季休業中の連絡>

休業期間 8/ 1(土)~8/17(月)

※休み中、不測の事態があれば担任 (学校) まで連絡を!

8/ 3(月)~8/ 8(土) 夏期講習【8/6(木)を除く】

8/ 9(日) 進研模試【全員受験です!】

8/12(水)~8/14(金) 学校閉庁日 (学校には入れません)

8/18(火) 全校集会・大掃除

※授業も 8/18(火) から始まります。この日に課題提出の教科がほとんどです。何事も計画的に! しかし、皆さん疲れが溜まっていることと思います。夏休みはしっかり休養をとり、心と体をリフレッシュさせることも大切にしてくださいね。